

# 形成外科学 〈D3, 4, 11, 13, 14〉

## オーガナイザー

形成外科学 教授 朝村 真一

## 教員名

教授 朝村 真一、講師 和田 仁孝、講師 宮崎 英隆

## I 一般学習目標

形成外科学総論および各論の知識をもとに、外傷、腫瘍、先天異常による欠損や変形の病態を理解し、医師になるに当たって、形成外科学の役割を学ぶ。

## II 個別学習目標

- (1) 形成外科の定義および対象疾患を述べることができる。
- (2) 形成外科と美容外科の違いを説明できる。
- (3) 皮膚の断面構造を図示できる。
- (4) 血行形態による皮弁分類を図示できる。
- (5) 創傷の治癒過程を説明できる。
- (6) 手術手技である縫合法、Z形成術、W形成術について説明できる。
- (7) 形成外科領域の急性外傷性疾患（顔面・手外傷、熱傷）のプライマリーケアを説明できる。
- (8) 形成外科領域の慢性潰瘍性疾患（難治性下腿潰瘍、褥瘡、虚血性下肢、リンパ浮腫）のプライマリーケアを説明できる。
- (9) 組織移植術について述べることができる。
- (10) マイクロサージャリー（微小血管外科）について述べることができる。
- (11) クラニオフェーシャルサージャリー（頭蓋顔面外科）について述べることができる。
- (12) 先天異常の用語と定義を述べることができる。
- (13) 形成外科と再生医療（組織工学）について説明できる。

## III 教育内容

- (1) 形成外科の手術は、創造性が重要であることを学ぶ。
- (2) 再建法の基礎である組織の血行動態および、皮膚・軟骨・骨の創傷治癒過程について理解する。
- (3) 代表的疾患について、それらのX線、CT、MRI、エコーの所見が述べられるようにする。
- (4) 講義で提示する疾患について、手術時期、病態、手術解剖、再建術式、術後管理、術後合併症について理解する。
- (5) 各臨床教室との合同カンファレンスに参加する。

## IV 評価の方法

定期試験を設けないため、評価は、講義へ出席（1講義：8点）が重要となる。10月13日5限目に小テスト（30分間）を行い、出席点と小テストの合計点で評価する。

## V 推薦する参考書

標準形成外科学第6版	医学書院	本体	5,800円
形成外科学第2版	南山堂	本体	6,000円

# 講 義 日 程 表

形成外科学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	H29.9.12	(火)	5	形成外科総論	形成外科	朝村
2	H29.10.3	(火)	4	創傷と手術手技	形成外科	宮崎
3	H29.10.3	(火)	5	頭蓋顎顔面外科と手外科	形成外科	朝村
4	H29.10.13	(金)	4	創傷と再建外科	形成外科	和田
5	H29.10.13	(金)	5	まとめ(誠験)	形成外科	朝村